

3年生進路便り



吹田市立千里丘中学校

令和8年5月25日

第6号 進路担当

今回は支援学校やコースについて説明します。「名前は聞いたことがあるけれど、違いがよく分からない」というお声を多くいただきますので、それぞれの特徴や注意点をまとめました。今後の進路選択の参考にしてください。

とりかい高等支援学校

摂津支援学校と同じ場所にあります。職業課は、「生産技術科」「食とみどり科」「生活科学科」の3学科を設置していて、職業教育に重点を置いた教育課程を編成しています。

さらに職場実習を通し、実践的な就労に必要な知識や技術、態度を身につけ、卒業後は社会自立を意識した上で活躍のできる人材を育成しています。

中学校で学んできた科目だけでなく、下記のように学科3コースを設定し、生徒は3つの中から、1つの学科を選びます。3年間専門的なことを学び、加えて全員が職業共通学科「清掃」「喫茶販売」「事務」「流通」も学びます。

どの学科に所属しても「あいさつ」「返事」「身だしなみ」など『働くとは』ということ を学び『働く力』を身につけます。

生産技術科	木工・組み立てなど「工業生産」にかかわる実習を通じ、就労を目指す。
食とみどり科	農園芸や食品加工など「食」に関わる実習を通じ、就労を目指す。
生活科学科	介護サービス・レクリエーション指導などの「福祉分野」の実習を通じ、就労を目指す。

入学者の選抜は、中学校等の校長が提出する調査書及び推薦書並びに検査及び面接（以下「検査等」という。）の結果を総合的に判断します。

とりかい高等支援学校を修了した場合、最終学歴は「特別支援学校（高等部）卒業」となり、一般的な「高等学校卒業（高卒）」の資格とは異なります。

共生推進教室

職業学科を設置する高等支援学校と府立高等学校が連携し、知的障がいのある生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行い、「ともに学び、ともに育つ」教育を推進する制度です。週1回は、とりかい高等支援学校に「職業に関する専門教科」を学びに行きます。

入学者の選抜は、設置校である高等学校にて行います。**北摂つばさ高校、千里青雲高校**があります。北摂つばさ高校や千里青雲高校の共生推進教室の卒業校名は「とりかい高等支援学校」になります。最終学歴は「特別支援学校（高等部）卒業」となり、一般的な「高等学校卒業（高卒）」の資格とは異なります。

自立支援コース

大阪府では、ノーマライゼーションの理念のもと、すべての幼児児童生徒が「ともに学び、ともに育つ」教育を基本とし、一人ひとりの障がいの状況に応じた教育を進めています。府立高等学校においても、修学上の配慮を要する多くの生徒が学んでいます。カリキュラムや授業内容を工夫し、知的障がいのある生徒が活いきと学び、障がいのあるなしに関わらず、共に高校生活を送り交友を深めていくことを目指しています。中学校の支援教室と同じで授業形態は抽出、入り込みクラスがあり、一人ひとりに合わせてカリキュラムを作っています。

入学者の選抜は、学力検査を実施せず、面接を実施します。（調査書、推薦書及び面接を選抜の資料とします。自己申告書を面接の参考資料とします。）

園芸高校 阿武野(あぶの)高校 柴島(くにじま)高校などがあり、一般的な「高等学校卒業（高卒）」の資格が得られます。

摂津支援学校 高等部

学習の形態は、1 コマの授業時間は35分です。ベーシックスタディー（国語、社会、数学、理科）とワークスタディー（職業）は、発達段階および学習到達度に応じた課題別グループ等に分かれて学習します。自立活動を中心とした学習をします。その他の教科については、学年の実態に応じたグループ編成で学習を行います。ワーク・キャリアガイダンスは、就労や社会的自立に向け、社会生活に必要な知識・技術を活用する力や態度を育成します。

クラスHRは、クラスや学年での活動、スクールHRは学部での活動を行います。HRの時間は全校で活動できる時間としても設定されています。個別的教育支援計画、個別の指導計画、個別の移行支援計画を作成し、個に応じた教育を目指します。

1 年生の10月から、「職業コース」と「生活コース」の二つの学習グループに分かれ、それぞれのコースで就労や社会的自立をめざします。

生活コース…生徒の実態に合わせて、個別配慮の指導を中心とし、就労および社会的自立に向けた力を身につけます。

職業コース…就労にむけて、社会的自立の力を集中的に身につけます。生徒の職業特性を一層伸長することを目的とし集団指導を中心とします。2年生から、7月と1月に定期考査を行います。また、入学前に、発達の状況を把握するための検査と面接があります。必ず保護者が同伴してください。

摂津支援学校を修了した場合、最終学歴は「特別支援学校（高等部）卒業」となり、一般的な「高等学校卒業（高卒）」の資格とは異なります。

※各高校で学校見学会・説明会がありますので、各自でHP等で調べて参加して下さい。

※とりかい高等支援学校や、共生推進教室、自立支援コースに進学するためには療育手帳が必要です（摂津支援学校は不要です。）期限が切れていないか確認して下さい。**更新するの**に約2ヶ月かかります。もし、期限が近づいている場合は早めに更新をしてください。

1. 進学先の3つの選択肢と特徴

① 高等支援学校（職業学科）

- **どんな学校？**：一般企業への就職を100%めざす、専門的な高等部単独の学校です。
（例：とりかい高等支援学校など）
- **学びの特徴**：週の半分近くが「職業」の授業です。園芸、製品加工、福祉、情報など、社会で即戦力となる実技・訓練を徹底して行います。
- **通学条件**：スクールバスはありません。「自力通学（電車・バス・自転車など）」が必須条件です。

② 共生推進教室

- **どんな学校？**：籍は「高等支援学校」に置きながら、**毎日の通学と授業のほとんどを「通常の府立高校」で行う仕組み**です。（例：千里青雲高校の共生推進教室など）
- **学びの特徴**：週4日は通常の高校生と一緒に授業（体育・芸術等）を受けたり行事に参加したりします。週1日は本校（高等支援学校）に登校し、専門的な職業教育を受けます。
- **通学条件**：スクールバスはありません。**自力通学が必須**です。

③ 生徒自立支援コース

- **どんな学校？**：支援学校ではなく、**通常の府立高校の生徒として入学し、3年間を過ごすコース**です。（例：阿武野高校、柴島高校など）
- **学びの特徴**：週の多くは一般の高校生と同じ教室で同じ授業（インクルーシブ教育）を受けます。週に数時間だけ「自立支援室」に移動し、それぞれの習得度に合わせた個別学習や作業学習を行います。
- **通学条件**：スクールバスはありません。原則自力通学となります。

2. ひと目でわかる比較表

比較項目	① 高等支援学校 (職業学科)	② 共生推進教室	③ 自立支援コース
在籍(籍)	高等支援学校	高等支援学校	通っている府立高校
毎日の通学先	高等支援学校(本校)	連携する 通常の府立高校	設定されている府立 高校
主な卒業進路	企業への一般就労	企業への一般就労	福祉就労・一般就労 など
募集定員	学校による (数十名規模)	各校 わずか 3 名	各校 わずか 2～3 名
入試内容	適性検査 (国数・作業)・面接	面接・書類選考のみ	面接のみ
出願条件	療育手帳	療育手帳	療育手帳

3. 重要なアドバイス (必ずご確認ください)

- 「療育手帳(または判定書)」の準備は今すぐ！

上記 3 つの選択肢はすべて、出願時に療育手帳(または知的障がい有するとの判定書)が必須です(とりかい高等支援学校や千里星雲高校・北摂つばさ高億の共生推進教室、園芸高校・柴島高校の自立支援コース、摂津支援高校は不要です)。取得や更新には数ヶ月かかるため、少しでも検討されている場合は、今すぐ児童相談所等へ連絡・予約を入れてください。冬の出願時に手元にないと受験できません。

- 定員が非常に少なく、倍率が発生します

特に「共生推進教室」や「自立支援コース」は定員が 1 校あたり 3 名と非常に狭き門です。不合格になる可能性が十分にありますので、必ず「地域の支援学校高等部(吹田支援・摂津支援など=選考による不合格がない学校)」を併願先としてセットで検討しておく必要があります。

- まずは「夏の学校見学会・体験入学」へ

百聞は一見に如かずです。実際の生徒たちの様子や学校の雰囲気を感じることが一番の近道です。6 月～7 月にかけて各校の見学会申し込みが始まりますので、中学校を通じて、または各校 HP から積極的にお申し込みください。

※各高校で学校見学会・説明会がありますので、各自で HP 等で調べて参加して下さい。